

日本人にかえれ

出光佐三展

出航の地・
宗像から世界へ

宗像で生まれ育ち、世界を舞台に活躍した出光佐三の功績をたどる。

平成27年3月24日〈火〉～5月10日〈日〉
海の道むなかた館 **入場無料**

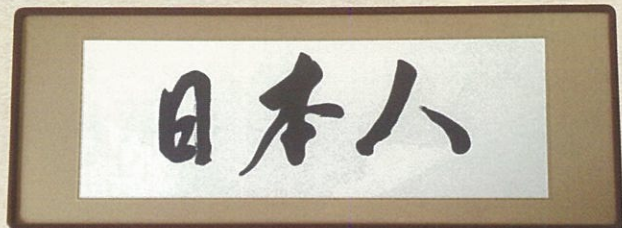
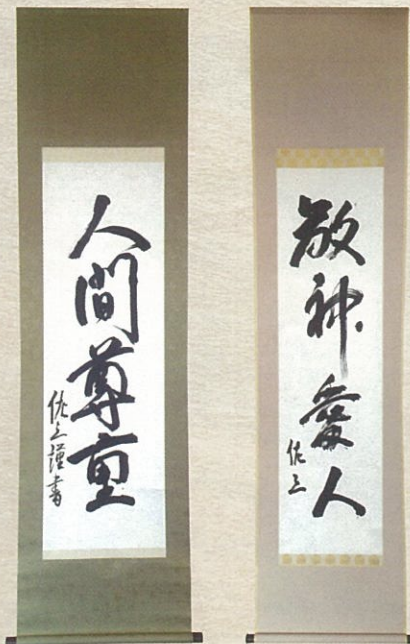
〒811-3504 福岡県宗像市深田588番地〔開館時間 / 9:00～18:00 休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌平日)〕

■主催: 宗像市、宗像市教育委員会 ■後援: 朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社 ■協力: 出光興産株式会社、RKB毎日放送株式会社
■お問い合わせ: 宗像市秘書政策課 TEL.0940-36-1055



赤間(当時の宗像郡赤間村)出身の偉人で、近年「海賊とよばれた男」の主人公・国岡鐵造のモデルとしても有名になった出光佐三は、明治18(1885)年生まれ。今年には生誕130周年に当たります。「日本人にかえれ」とは、出光佐三の言葉です。数十年も前の言葉ですが、環境問題や紛争問題など、世界が一つになって解決すべき課題が多い今こそ、日本人が大切にしてきた和の心、互譲互助の精神が世界で必要とされているのではないのでしょうか。郷土・宗像を愛し、そして日本人としての誇りを持って世界を舞台に活躍した出光佐三の足跡をたどることで、私たちがこれから進むべき道を考えます。

出光佐三自身の筆による貴重な揮毫3点(「日本人」、「人間尊重」、「敬神愛人」)や、昭和53年当時に宗像町が贈った「宗像町栄誉町民章」、沖ノ島丸のタンカー模型などの展示物に加え、佐三の肉声や動く姿を見ることができる貴重な映像資料により、佐三の歩みや故郷・宗像への思いを振り返ります。



出光佐三 略歴

- 明治18(1885)年：宗像郡赤間村(現在の宗像市)に生まれる
- 明治42(1909)年：神戸高商を卒業、丁稚として酒井商会に入る
- 明治44(1911)年：出光商会、門司市東本町(現在の北九州市門司区)で創業
- 昭和17(1942)年：宗像神社復興期成会結成、会長となる
- 昭和28(1953)年：日章丸(二世)アバダンに入港、イラン石油を初めて輸入
- 昭和53(1978)年：宗像町の名誉町民となる
- 昭和56(1981)年：急性心不全のため逝去、享年97歳



会場へのアクセスについて

会場

海の道むなかた館(宗像市郷土化学習交流館)
〒811-3504 福岡県宗像市深田588番地
TEL:0940-62-2600 FAX:0940-62-2601

公共交通機関をご利用の場合

- JR/「東郷駅」下車(博多駅から快速で約30分、小倉駅から快速で約40分)
- 西鉄バス/東郷駅北口「東郷駅前」バス停から、宗像大社経由・神湊波止場または光陽台6丁目行きバスで約12分、「宗像大社前」バス停下車

車をご利用の場合

- 九州自動車道若宮インターから約20分、古賀インターから約25分

天神日銀前から
宗像大社まで
直通バスが開通

【天神発】
9:00 / 10:00 / 11:00
【宗像大社発】
11:35 / 12:35 / 13:35
(所要時間)約1時間
(金額)1,000円

